

タウンミーティング(交流会)・スクールミーティング(出前講座)実施結果

多文化共生タウンミーティング@白石町須古地区 ～外国人と共に暮らす白石づくり～

【概要】

地区の地域づくり協議会を中心に、外国人受入企業、地域日本語教室、外国人住民が参加し、「地域の外国人に対する印象」や「地域の外国人と上手に付き合うために必要なこと」をテーマに意見交換を行った。

【主な意見】

- *地域のイベントや行事に参加したいが、情報がどこにあるのかわからない。
- *地域の行事等の情報が、外国人の方に届いていないことがわかった。
- *地域行事に外国人にも参加して欲しいので、積極的に声をかけていきたい。
- *外国人の方が日本語を話せなかったらどうしようと思うと、躊躇して話しかけられない。
- *佐賀弁で話をされると理解するのが大変。
- *やさしい日本語を知っていれば、外国人住民と話ができる。
- *自治体による相談窓口での相談対応や交流におけるサポートも必要ではないか。
- *企業としては、受入れている外国人たちが、地域の方にどう思われているのか心配。
- *バドミントンをやりたいが場所がないので、バドミントン交流をしたらどうか。

多文化共生交流会@江北町 ～みんなの花を咲かせよう～

【概要】

町内で活発に活動するCSOと、外国人住民が参加し、植栽活動や国紹介で交流や相互理解を深め、「江北町のことを話そう」というテーマで自由に意見を出しあった。

【主な意見】

(江北町の良いところ、良くないところ)

- *江北町は優しい人がいっぱいいる／自然が豊か／生活に必要な施設がまとまっている。
- *江北町では遊ぶところが少ない。

(江北町で生活していて困ること)

- *日本語教室がない
- *言葉が難しい。特に江北町に来た当初はそうだった。
- *母国の食材が手に入らない。

(江北町のみんなでこんなことがしたい)

- *日本人と外国人と一緒にイベントがしたい。
- *日本人と交流がしたい。(交流の場がもっと欲しい)
- *一緒に野菜づくりをしたい。

多文化共生タウンミーティング@玄海町 ～結ぶ繋ぐあかりプロジェクトへの参加～

【概要】

やさしい日本語でのワークショップ等をとおして、外国人住民と日本人住民の相互理解を深めるとともに、玄海町地域おこしイベント「結ぶ繋ぐあかり～浜野浦の棚田にあかりを灯す～」に参加者同士と一緒に参加することでさらなる交流を深めた。

【主な意見】

- *方言を話さないというのは、難しかった。
- *使い慣れた言葉をつかえないのは大変だとわかった。
- *やさしい日本語は、外国人にとっていい。
- *（外国語ではなく）日本語でもいいと言われるとちょっと安心する。
- *日本語が上手ではないから緊張します。
- *玄海が好き、いろんな人と知り合って、いろんな事をしたいと思う。
- *親子で参加できて良かった。佐賀の色々なところが知りたい。

さが多文化共生スクールミーティング／出前講座

@佐賀農業高校、@佐賀商業高校、@ゆめ佐賀大学

【概要】

多文化共生の理念や日本と外国の相違点等をとおして異文化理解について学ぶとともに、やさしい日本語を学ぶだけでなく、実際に外国人留学生とやさしい日本語を使用して交流することで相互理解を深めた。（スクールミーティング及び出前講座として実施）

【主な意見】

- *外国人がさらに増えると思うので、やさしい日本語等で誰もが住みやすい地域づくりをしたい。
- *多文化共生には、相互理解、協力や交流が不可欠だと思う。
- *もっとたくさんの国の文化や習慣を知りたい。
- *地域で外国人と交流する場を増やすべき。
- *地域の交流会の情報を知らないなので、もっとお知らせが必要ではないか。
- *地域の避難訓練に外国人の方も参加した方がいいのではないか。
- *外国人とは英語で話すと考えていたが違った。やさしい日本語を使う必要がある。
- *ごみの捨て方、避難所や公共施設の場所等、重要な情報が外国人にもわかるようにすべき。
- *外国人に対する偏見を持たずに、自分の価値観を外国人に押し付けるべきではない。
- *外国人がわかりやすいような言葉やイラスト等を使って情報を伝えた方がいいのではないか。
- *言葉の壁は大きいと思っていたが、日本人の私たちが意思疎通をすることが重要。
- *外国人に地域に残って、地域の良さを身につけてもらいたい。